

県が無料貸与の重機による除雪作業を視察

日本共産党議員団は7日、清里区を訪れ、県が市にたいして無料で貸与した重機などによる除排雪作業の現場を視察しました。

同区内では8集落で取り組まれています。この日、議員団が訪ねたのは、東戸野集落です。積雪そのものは2m50cmくらいでしたが、集落内の道路脇の雪の山の高さが4～5mになっていてびっくりしました。近くの住民に聞いたら、「小型除雪機で雪を飛ばしても、高すぎて雪がまた道路に落ちてくる」ということでした。

東戸野集落では、バックホー1台、ダンプ2台が除排雪作業にあたっていました。バックホーで雪をダンプに載せ、雪捨て場に運ぶ。重機の扱いがとても上手いので、どこかの業者を頼んだのかと思ったら、オペレーターは集落の住民でした。皆で決めたそうです。

バックホーのそばには作業を見守る人たちが何人もいて、明るい笑顔が見られました。「どうです、県のこの取り組みは」ときくと、「おかげで後回しにならなくなったんで、助かるね」という答えが返ってきました。豪雪対策の1つとして定着させたいですね。



山口典久氏が党上越地区委を訪問

次回衆院選挙の日本共産党・北陸信越ブロックの比例候補は党長野県書記長の山口典久（やまぐち・のりひさ）氏（45歳）に決まりました。これまでの候補、木島日出夫元衆院議員と交代です。

山口氏は7日、木島元衆院議員等と共に党上越地区委員会を訪れ、「木島さんの活動を見てきて、党の1議席の重みを知っているので、ぜひとも議席回復をやりとげたい」と挨拶しました。

山口氏は群馬県生まれ。信州大学卒。これまで国政選挙に何度か挑戦し、長野県での日本共産党候補としての最高得票の実績があります。家族は妻と4人の子ども。まだ、子どもが小さく、家に帰れば幼稚園状態だそうです。ご支援、よろしく申し上げます。



写真は、左から木島元衆院議員、山口氏、阿部党上越地区委員長

集配廃止対象局は上越市内では9局か

日本郵政公社はこのほど2007年の郵政民営化に向けて、郵便物の収集・区分と集配業務を独自に行う集配郵便局を大きく減らし、近隣郵便局へ集約する方針を固めた模様です。対象となる局は全国で約960局といわれています。これまで入手できた情報では、上越市内で対象とするかどうか検討されているのは、川浦、上杉、高土、菅原、名立、谷浜、大島、板倉の各郵便局です。

同公社では、「局の廃止を前提にしたものではない。サービス低下にならぬようにしていきたい。」とされていますが、配達区域の拡大による遅配などサービス低下は必至です。



日本共産党上越市議団ニュース

37 2006年2月12日

連絡先	杉本敏宏	524-3787	(東本町5)
	樋口良子	544-6802	(中門前3)
	橋爪法一	548-3628	(吉川区代石)
事務局長	上野公悦	530-2203	(頸城区中柳町)